

# 朝活動「話し合いタイム」について

研究推進委員会

## 1 朝活タイムのねらい

- (1) 学習内容の定着や学力向上につながる思考スキルを習得する。「**学力向上**」
- (2) タブレット活用の基礎を身につけ、授業や総合学習に生かす。「**タブレットの活用**」
- (3) 話し合い活動の土台となる考え方や技能を身につけ、自己の考えの深まりや広がりを目指す。  
「**話し合い活動の充実**」
- (4) 読書を通して、豊かな心を育てる。「**読書強調週間**」

## 2 具体的な活動内容 (朝の会終了後 8:25~8:40)

①話し合い活動の充実1 ワールドカフェ形式 題材「これからの学校生活で楽しみなこと」

資料1

②話し合い活動の充実2 KJ法 題材「おすすめの勉強法」

資料2

③話し合い活動の充実3 ディベート 題材「2Pノートは必要か」

資料3

月日	活動目的	内容	学習ポイント	スキル
5/29 (月) 各個人	二中スタンダードの考え方の理解	教室掲示の二中スタンダード説明 話し合いの進め方・役割 <b>話し合いで大切なこととは？</b>	・話し合いの意義 ・考えをもつ	よく聴く
5/30 (火) クラス全体	実際に話し合いの流れを実践	話し合いで大切なことの発表 <b>発表内容の理解・共有</b>	・話し合いの進め方 ・聴く側としての心構え、態度	
5/31 (水) 各個人	スピーチ原稿作成	題材「これからの学校生活で楽しみなこと」 <b>わかりやすく話すためには？</b>	・自分の考えを発表できる準備	共感
6/1 (木) 班+個人	発表	題材「これからの学校生活で楽しみなこと」 <b>発表内容の要点、書きとり</b>	・話し合いの実践 ・発表内容の要点把握	
6/2 (金) 班+個人	伝える 他者紹介	題材「これからの学校生活で楽しみなこと」 <b>ワールドカフェ形式</b>	・他者の考えを伝える ・共感ポイント	よりよいものを探る
9/11 (月) 各個人	発想を広げる	題材「おすすめの勉強法」 <b>ブレインストーミング (付箋)</b>	・自由発想 ・なるべく多く	
9/12 (火) 班	分類わけ	題材「おすすめの勉強法」 <b>KJ法</b>	・統合化 ・図解化	
9/13 (水) 班	発表原稿づくり	題材「おすすめの勉強法」 <b>新たな発想やアイデアにつなげる</b>	・文章化	
9/14 (木) クラス全体	発表	題材「おすすめの勉強法」 <b>なぜその結論に至ったか？</b>	・理由、根拠を入れながら話す	根拠を明確に
9/15 (金) 各個人	振り返り	これまでの学習でわかったこと、気づいたことをまとめる	・授業、家庭学習の向上につなげる	
12/11 (月) 班+個人	役割決定 ルール確認	<b>班ごとに自分の立場を決める</b> 必要2名、いらぬ2名、第三者(意見を聞き、最終的にはどちらかに決定する)1名、班長(司会)	・自分の考えを持つ ・題材「2Pノートは必要か」立論	
12/12 (火) 班+個人	伝える 反駁する	賛成、反対、第三者(司会)にわかれ、班ごとに実際にディベート	・自分の考えについて根拠をもって伝える。 ・仲間の考えをしっかりと聞く	よく聴く
12/13 (水) 班+個人	班での決議	最終弁論を行う 第三者はディベートの中で自分の支持する意見を決定する。	・反駁を参考に最終弁論する ・採用した理由を、根拠をもって説明できる	
12/14 (木) クラス全体	決議報告	その他大勢の前で、自分の班の決定事項と、根拠を説明する	どう話せば、自分たちの決定が他の班の共感を得られるのかを考える	よく聴く
12/15 (金) 各個人	振り返り	・自分の意見をもって積極的に言う ・相手の意見をよく聞いて、その立場に立ち考える ・根拠などを意識して論理的に議論を行う	話し合い活動全体からの学びを言葉にする ・グループの中での協力	

# 【話し合いで大切なことの共有・ワールドカフェ形式】

## 朝活 話し合い活動② 「考えを伝え合う」

回	月日	活動の目的	内容	学習のキーワード
1	5/31(水)	スピーチ原稿作成	わかりやすく話す方法を考える	聞き手への意識
2	6/1(木)	発表	発表内容の要点把握	よく聴く、共感
3	6/2(金)	伝える、他者紹介	ワールドカフェ形式	よく聴く、共感

テーマ：「これからの学校生活で楽しみにしていること」

### 1. スピーチ原稿作成

- ・テーマについて、自分の考えを簡潔にまとめよう。
- ・原稿を作る際には、聞き手を意識し、伝わりやすい内容や発表方法を考えよう。
- ・一語す内容の順番や話し方を工夫する？ 全くの他人が見ても、理解できる内容かな？

### 2. 発表

★話し合いには、下のような役割があります。班の中でも役割を決めて話し合いを行いましょう。

司会	進行役として発言者を指名したり、意見をまとめたりしながら議論をリードする。
記録者	出し合った意見や議論の流れをノートにまとめ、内容を整理する。
(タイムキーパー)	時間を計測し、司会と協力しながら議論がまとまるように調整する。

- ・準備した原稿をもとに発表を行おう。一ただ聴いただけでなく、要点を伝えられる工夫を考えて発表にしよう。
- ・友達の発表を聞いて、要点をまとめよう。→友達の発表の要点の一語言いたいことは何か、どこが共感できたか、しっかり聞いて内容の把握ができるようにする。

◎友達の発表をしっかり聞いてメモし、表を完成させよう！一語かに伝えるためには何をメモしておけばいいの？

友達の名前	経験や要点	共感ポイント(覚えてこよう)
さん	練習	発表が楽しい、2人で一つの発表をする
さん	練習	みんなの意見を聞きながら発表する

### 3. 他者紹介 (ワールドカフェ方式)

- ・班で聞いた内容を、他の班の友達に要点を紹介しよう。
- ・友達発表の魅力を再現できるよう、工夫しよう。

※ワールドカフェ方式とは…

- ①自分の班で発表を行う。その際、友達の発表をよく聴き、経験や要点を必ずメモする。
- ②各班で、1番から5番まで番号を決める。(1班1番、2班2番、3班3番、4班4番は6班に入る)
- ③決まった番号ごとに新しくグループをつくり、もとの班で聞いた友達の考えを発表し合う。

ワールドカフェ方式：感想  
 最初は二重輪が少し不安でしたが、みんなの話を聴くと、共有することができてよかったです。

## 朝活 話し合い活動 ～1学期～ 「考えをもつ」

年 組 番 氏名:

回	月日	活動の目的	内容	学習のキーワード
1	5/29(月)	話し合いで大切なことについて考えをもつ	・話し合い活動で大切なことは？ ・班で考えを共有する	よく聴き、考えて話す
2	5/30(火)	二中スタンダードの考え方を理解する	・話し合いで大切なことの発表 ・発表内容の理解・共有	聴く側の構えや態度

### 1-1. 話し合いで大切なことは何だろうか？(個人)

自分の考えをもつ(メモは発表まで)・自分の意見をしっかりと通そうとしたい。人の言葉をよく聴く。利合わせも必要(全員から意見を聴く)。意見を伝えるのはため。スムーズな進行

### 1-2. 班で共有した結果をメモしよう。(班)

自分と相手の考えを比較しながら、一番良かったところを具体的に話そうとする。自分の意見をしっかりと通そうとしたい。相手の意見についてメモする。根拠・視点をメモして、共通点・わかりやすい言葉で

### 2-1. クラス全体で共有した結果をメモしよう。(全体)

自分、メモをとる。時間までに意見をまとめる。

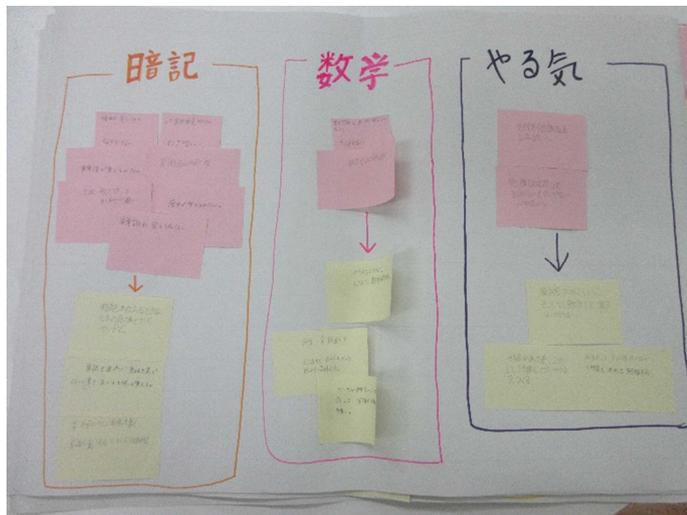
### 2-2. 二中スタンダードについて

普段の生活では、話し合いをする機会がたくさんあります。例えば、学校では授業やクラスの話し合い活動の時間、社会では職場の会議や団体の議論などです。そして、現代のような変化の激しい世界の中で、多くの課題を解決し、集団の中でより良く生きていくためには「話し合い」という営みは必要不可欠です。このような視点から、皆さんが成長していく過程で、話し合いのやり方や議論を深めるための手法を知り、身につけることはとても重要なことになっていくのです。  
 二中スタンダードは、こうした背景から「中学生がよりよく、活発に話し合い活動ができるように」という視点で作られました。具体的には、教案に提示してあるようなポイントを意識して話し合いを行うようになっています。



## 生徒の姿

話し合いを成立させるために大切にしたいことを、話し手側と聞き手側双方の立場で考えることができていた。話し手については、相手に伝わる表現の工夫(口調や言葉、根拠、目線や表情など)が大切であることが挙げられた。聞き手については、しっかり聞く態度や否定しすぎず受け止めることの大切さなどが挙げられた。また、話し合い全体のこととして、スムーズに進行するために役割分担や話し合いの進め方に言及する班もあった。



### 生徒の姿

付箋に記入する形式は、多面的に考えることが難しい生徒も気軽に記入して参加できる良さがあり良かった。見出しを考える過程では、他の人の考えを理解する必要があるため、ワールドカフェ形式の話し合い以上に聞くことに集中した話し合いが行われていた。適切な見出しを考えることがなかなか難しかったようだが、そこでまた話し合う機会が生まれたことがこの活動の意味を深めることにつながっていた。

# 【ディベート】

12/14 決議報告 その他大勢の前で、自分の班の決定事項と、根拠をどう説明するか。

班長報告：班員全員で相談して書く。「どう話せば、自分たちの決定が他の班の共感を得られるのか？」  
 班での最終決定意見 いらない  
 決定の根拠や優位性  
適当に構えて自分のために必要なことをするだけならいい方がいい。自分が必要だと思っても自分で必要だと思わずに提出した者が嫌々する必要はない。効率的。

メモ  
 1班の決定 いらない    2班の決定 いらない    3班の決定 いらない  
 ⇒多数決でクラスとしての意見になる  
 4班の決定 いらない    5班の決定 必要  
 ⇒クラス全員が納得する必要

12/15 個人の学び

ディベートを振り返って (A・・・よくできた B・・・できた C・・・できなかった)  
 1. グループの中で協力して良い活動にできた ( A ( ) B ( ) C ( ) )  
 2. ディベートの中で自分の意見をもっと積極的に言うことができた。( A ( ) B ( ) C ( ) )  
 3. 相手の意見をよく聞いて、その立場に立って考えることができた。( A ( ) B ( ) C ( ) )  
 4. 根拠などを意識して論理的に議論を行い、班の意見を決定できた。( A ( ) B ( ) C ( ) )

意見が決定してみても思ったこと (自分の立場で感じたこと)  
ディベートが必要なのは白黒はっきりつけたいことが多いが、それをどうやって補うか自分の意見も含めた上で発信した方がいいと思った。意見を言う側にも色々な立場の人がいるから、一概にして考えたり、一概に賛成ではいけない。

12/14 決議報告 その他大勢の前で、自分の班の決定事項と、根拠をどう説明するか。

班長報告：班員全員で相談して書く。「どう話せば、自分たちの決定が他の班の共感を得られるのか？」  
 班での最終決定意見 2P-1は必要  
 決定の根拠や優位性  
授業の内容を復習できるところが決定につながった。自分自身もかきそのままだことではかき身につく。また 2P-1に書くことで振り返り返ることもできてディベートの成績もあがると思えた。数学校全体の取り組みなので学力向上にもつながる。そして最後に自分の苦手な教科をくり返しかくことで次の学年に上がった時。

メモ  
 1班の決定 必要    2班の決定 必要    3班の決定 必要じゃない  
 ⇒多数決でクラスとしての意見になる  
 4班の決定 必要    5班の決定 いらない  
 ⇒クラス全員が納得する必要

12/15 個人の学び

ディベートを振り返って (A・・・よくできた B・・・できた C・・・できなかった)  
 1. グループの中で協力して良い活動にできた ( A ( ) B ( ) C ( ) )  
 2. ディベートの中で自分の意見をもっと積極的に言うことができた。( A ( ) B ( ) C ( ) )  
 3. 相手の意見をよく聞いて、その立場に立って考えることができた。( A ( ) B ( ) C ( ) )  
 4. 根拠などを意識して論理的に議論を行い、班の意見を決定できた。( A ( ) B ( ) C ( ) )

意見が決定してみても思ったこと (自分の立場で感じたこと)  
私は第三者(目録)の立場で2Pは必要という意見に決定した。でも考えてみると無意味な理由も自ら思いついた方が学力も保持し上がるかと思えた。だから2P-1は必要かと思えた。必要かと思っても、やっぱりいだけ矢張り出して、やりたくない人はしないようにする先生の負担も減らしたいのかもしれない。提出しなくても家でもノートやルーズリーフにリクや読んでいるワークを解いて勉強すればいいので強制的にする必要はないと思えた。

12/14 決議報告 その他大勢の前で、自分の班の決定事項と、根拠をどう説明するか。

班長報告：班員全員で相談して書く。「どう話せば、自分たちの決定が他の班の共感を得られるのか？」  
 班での最終決定意見 2P-1はいらない  
 決定の根拠や優位性  
面倒くさいなって思ったり、授業がうらやましいなら意味が無くやらせたい方がいいと思うから。  
 結局は2P-1で自分のためにしている物だから、やりたくない方がいいと思うから。

メモ  
 1班の決定 ○    2班の決定 ×    3班の決定 ×  
 ⇒多数決でクラスとしての意見になる  
 4班の決定 ×    5班の決定 ○  
 ⇒クラス全員が納得する必要

12/15 個人の学び

ディベートを振り返って (A・・・よくできた B・・・できた C・・・できなかった)  
 1. グループの中で協力して良い活動にできた ( A ( ) B ( ) C ( ) )  
 2. ディベートの中で自分の意見をもっと積極的に言うことができた。( A ( ) B ( ) C ( ) )  
 3. 相手の意見をよく聞いて、その立場に立って考えることができた。( A ( ) B ( ) C ( ) )  
 4. 根拠などを意識して論理的に議論を行い、班の意見を決定できた。( A ( ) B ( ) C ( ) )

意見が決定してみても思ったこと (自分の立場で感じたこと)  
自分は2Pがいらないという意見になって、自分も2Pはいらないと思っていたので、みんなの班も2Pがいらないという意見がよかったけど、意外とバラバラでいる側の意見として、今のうちに学習の習慣をつけておいた方がいい、とかがあって確かなら共感できた。自分は第三者として、この議論に自分の感情をいれるのが、事実だけをとり入れるのが、難しいなと感じた。

**生徒の姿**

自分の考えとは違う立場をとることになった生徒も、様々な視点で考え、説得力のある説明になるよう思考を巡らせていた。また、反対意見を聞く姿勢についての感想には、聞く人が熱心に聞いてくれると、話す側も安心して話せることや話す内容もより充実したものになるという内容が多く見られた。

また、第三者の立場を取った生徒については、両方の主張のどちらがより根拠が明確で説得力があるかという視点に加え、自分の考えとどう折り合いをつけるのかという点に難しさを感じている生徒がいた。全体的には、お互いの主張にしっかり耳を傾けたり、自分の考えを言葉にしたりして伝えることの大切さに気づくことができていた。